

受 験 番 号

国

語

(100点 60分)

(2025年度B - 2)

**注 意 事 項**

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。  
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、16ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏 名 欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科 目 名 欄 「国語」と記入してください。
  - ③ 受 験 番 号 欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 6 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。  
例えば 

20
----

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように20の解答マーク欄の③にマークしてください。  
(例)
 

解 答 マ ー ク 欄												
20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⊖	⊕
- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

(  
解答  
番号  
)

1

5

35

(

# 第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問10)に答えなさい。

「ポピュリズム」を定義するのは難しい。ポピュリストには右も左もあり、保守派も進歩派もあり、国粹主義者もいれば社会主義者もいて、どのような定義をするにしても、それらすべてを一つの定義のもとにホウセツすることはできないからである。そして、まさにこの点にポピュリズムの固有な特徴がある。ジョージア大学の政治学者カス・ミュデによると、ポピュリズムにはそもそもイデオロギー的な理念の厚みが存在しない。従来のイデオロギーは、全体主義にせよ共産主義にせよ、政治や経済から文化や芸術まで、社会全体のあるべき姿を描き出そうとしたものである。

だが、ポピュリズムはそのような全体的な将来構想をもたない。あるのはただ、「雇用」「移民」「テロ」など、その時点でその社会がもつ特定の政治的(注1)アジェンダに限定した語りかけの言説である。だからポピュリストは、あれこれの不特定イデオロギーに仮託して世界観的な厚みの欠如を繕おうとするのである。当然ながら、その結びつきに方向性や一貫性があるわけではないので、借用物は時と場合に応じて自由に変幻することになる。ポピュリズムを理解することが難しいのは、この融通無碍な性格のゆえである。

ポピュリズムの蔓延が社会を分断する結果になるのも、同じ理屈からである。ポピュリストは社会にA的な価値が存在することを認めない。特定の狭い政治的アジェンダに対する賛成か反対かで有権者を二分し、そこに道徳的な善と悪を明快に割り振る。投票による過半数を握った時点で、彼らは全国民の代表者となり、民主主義のB性をまとった善の体現者であることになる。すると、これに反対する者は、すべて不道徳で腐敗した既存勢力であり、国民の敵と見なされるようになる。トルコのエルドアン大統領の発言に、「われわれは人民だ。あんたはいつた誰だ」(We are the people. Who are you?)というのがあるが、まさにポピュリズムの名台詞である。このように全体を僭称することが、異端の特徴である。

しかし、成熟した民主的な社会にあつては、人びとの価値観は多様であり得る。一つの論点については賛成でも、別の論点については反対、という重層的な判断がビッグデータのように幾重にも集積してはじめて、社会の共通意志を付度することができるようになるのである。現代の投票制度は、そこまできめ細かく民意を問うようにはできていないので、いったん政権の座に就いた者はフリーハンドを得たことになる。

一つの社会に複数の中心を置いて権力を分散させ、特定の集団が覇権を握らないように配慮するのは、多元主義が培ってきた知恵である。こうしたチェック&バランスも、ポピュリストには鬱陶しいだけである。自分は人びとのC的な支持を得て善を行おうとしているのに、その自分の手を縛る不当な制約だ、と映るからである。

常識的な抑制や均衡に対するこうした反発は、しばしば反知性主義と一体になって表現される。どちらも、既成の権力や体制派のエリートに対する大衆の反感を梃子にした勢力だからである。そのためポピュリストは、服装から言葉遣いに至るまで、あくまでも自分が専門家集団の外部に立つアマチュアであることを強調する。プロの政治家はみな腐敗した権力構造の虜で既得権益を守ろうとするが、素朴な民衆はいつも騙されて搾取される被害者だ、そして

自分こそそういう民衆全体の利益代表者だ、という設定である。

ポピュリズムが容易に権威主義へと転じ、野党やメディアや司法といった **D** 的機能をフウサツしようとするのも、全体性主張の論理からして当然の道理である。イタリアのベルルスコーニ元首相は、選挙で選ばれていない裁判官が「赤い法服」(左翼主義)を纏って自分の邪魔をする、という批判を繰り返した。<sup>(注3)</sup> 発足したばかりのトランプ政権も、特定宗教を狙い撃ちにした入国禁止の大統領令を出し、連邦裁判所がそれを差し止めると、裁判官への侮蔑や司法の独立に対する不満を露わにした。

ポピュリストは、たとえぎりぎりの過半数であっても、ひとたび権力を掌握すると、あとは有権者をすべて「サイレント・マジヨリテイ」と見なして自己への同調者に算入する。そうすると、自分は国民の声を代弁する存在となるから、反対者をまさに民主主義の名において圧倒することができるようになるのである。これは前世紀前半を覆った全体主義の歴史においても、あるいは今世紀の欧州や中南米においても見られる、ポピュリストに共通の手法である。部分が全体を僭称するとき、暴走を制御するはずの内部規範は無力化され、排外主義が人びとを支配するようになる。

ちなみに、「サイレント・マジヨリテイ」は、ニクソン大統領が「ベトナム反戦運動などの面倒な政府批判に加わらず、静かに自分を支持してくれている人びと」という意味で使った言葉である。トランプ大統領にとつては、体面を気にして表に出てこない自分の支持者たちを意味していた。もちろん、それらの人びとが実際に何を考え誰を支持しているかを知るすべはないので、政治家には使い勝手のよい言葉である。

だが、ポピュリズムの蔓延を理解するには、<sup>4</sup> こうした政治制度の面だけでなく、そこに表出された人びとの主観的な熱情を理解する必要がある。なぜ良識ある普通の市民が、いともたやすくポピュリズムの波にさらわれてしまうのか。<sup>5</sup> この疑問は、ポピュリズムを単に強烈な指導者に踊らされた大衆の一時的な反動として片付けている限り、解くことができない。

ポピュリズムのもつ熱情は、本質的には宗教的な熱情と同根である。社会的な不正義の是正を求める人びとは、かつては教会や寺院などの宗教的な組織にその集団的な表現経路を見いだしていた。既成宗教が弱体化して人びとの発言を集約する機能をもたなくなった今日、その情熱の排出に代替的な手段を与えているのがポピュリズムなのである。この点で、ポピュリズムは反知性主義と同じく、宗教なき時代にコウリュウする代替宗教の一様態である。

ポピュリズムの宗教的な性格は、その善悪二元論にも明らかである。政治は本来、妥協と調整の世界である。一方的な善の体現者もいなければ、一方的な悪の体現者もない。しかし、ひとたび国民の「声なき声」を代弁する立場を襲うと、<sup>6</sup> 彼らの闘争には「悪に対する善の闘争」という宇宙論的な意義が付与され、にわかに宗教的な二元論の様相を帯びる。だからポピュリストの発言は、妥協を許さない「あれかこれか」の原理主義へと転化しやすいのである。

シセイの人びともこれをカンゲイする。善悪二元論的な世界理解は、日頃抱いている不満や怒りを、たとえ争点とは事実上無関係であっても、そこに集約させてぶつけることができるからである。それによって人びとは、自分にも意義ある **E** 的な世界参加の道が開かれていることを実感する。つまり、

ポピュリズムは一般市民に「正統性」の意識を抱かせ、それを堪能する機会を与えているのである。人びとは、匿名であるままに、みずからを安全な立場に置いた上で、この正統性意識を堪能することができる。

民主主義という概念は、本来いくつもの要素で構成されている。多数決原理はそのうちの一つにすぎず、投票による民意は時代を超えたより大きな多数者を代弁することができない。つまり、「多数者」といふこともやはり全体ではなく部分である。統治者は、国民の排他的な代弁者ではない。したがって、その統治は道徳的な闘争ではなく、統治者への反対も不道徳ではない。このことを忘却して部分が全体を僭称するとき、（<sup>7</sup>）は内側から蝕まれる。

（森本あんり『異端の時代——正統のかたちを求めて』による）

（注1） アジェンダⅡ検討課題。行動計画。

（注2） 反知性主義Ⅱ知性的なものを軽蔑する態度。また知性と権力との結びつきに対する反発。

（注3） 発足したばかりのトランプ政権Ⅱ本出典は二〇一八年に刊行されている。

問1 傍線部 a ～ e のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の ① ～ ⑤ のうちから一つずつ選びなさい。〔解答番号 1 ～ 5〕

a ホウセツ

1

- ① スイホウに帰す。
- ② 敵のホウゲキを受ける。
- ③ 社会にホウシする。
- ④ 傷口にホウタイを巻く。
- ⑤ 諸国をレキホウする。

b フウサツ

2

- ① 役員人事をサツシンする。
- ② サツカ傷を治療する。
- ③ サツシを配布する。
- ④ 不穏な動きをサツチする。
- ⑤ サツチユウ剤を散布する。

c コウリュウ

3

- ① 細部にコウデイする。
- ② 契約をコウカイする。
- ③ 怪我のコウミョウ。
- ④ コウシヤクを垂れる。
- ⑤ 震災からフッコウする。

d シセイ

4

- ① イの中の蛙かわず大海を知らず。
- ② マコトを尽くす。
- ③ 身をキヨめる。
- ④ 説明をハブく。
- ⑤ 毒をモる。

e カンゲイ

5

- ① カカンに挑戦する。
- ② カンコの声にむかえられる。
- ③ 道がカンボツする。
- ④ 辞任をカンコクする。
- ⑤ カンセイな住宅街。

問2 空欄 A ～ E を補う語として最も適当なものを、次の ① ～ ⑥ のうちから一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません)

〔解答番号 A 〓 6、B 〓 7、C 〓 8、D 〓 9、E 〓 10〕

- ① 正統
- ② 批判
- ③ 全面
- ④ 主体
- ⑤ 多元
- ⑥ 一方

問3 傍線部1「借用物」に該当するものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 11〕

- ① ポピュリズム
- ② 全体的な将来構想
- ③ 「雇用」「移民」「テロ」など
- ④ 特定の政治的アジェンダ
- ⑤ 不特定イデオロギー

問4 傍線部2「このように全体を僭称する」とは、エルドアン大統領のどのような点を言ったものですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 12〕

- ① 特定の狭い政治的アジェンダに対する賛成か反対かで有権者を二分しようとする点
- ② 道徳的な善悪を基準にして、有権者や政治家をいずれかに明快に割り振ろうとする点
- ③ 国民の敵である、不道徳で腐敗した既存勢力を、悪の体現者として一掃しようとする点
- ④ 投票によって全国民の代表者となるやいなや、自分に反対する者を国民の敵とみなす点
- ⑤ 投票で過半数を取ったにすぎないのに、全国民の代表者であるかのように振る舞う点

問5 傍線部3「どちら」とは何と何ですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 13〕

- ① 常識的な抑制や均衡とそれに対する反発
- ② ポピュリズムと反知性主義
- ③ ポピュリストと大衆
- ④ 既存勢力と反知性主義
- ⑤ 専門家とアマチュア

問6 傍線部4「こうした政治制度の面」とは具体的にどのようなことを指していますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 14〕

- ① 「サイレント・マジョリティ」と言われる民衆の支持を得て政権につくと、既成の権力や体制派のエリートたちを腐敗した権力構造の虜であるとして、政治の世界から追放すること
- ② プロの政治家たちが腐敗した権力構造の虜となつて既得権力を死守しようとするせいで、暴走を制御するはずの内部規範が無力化され、排外主義が人びとを支配することになること
- ③ 選挙で過半数を取ると、自分たちは全国民の代表者であるとして、「サイレント・マジョリティ」を自分たちへの同調者に算入したり、反対者を民主主義の敵として攻撃したりすること
- ④ 「サイレント・マジョリティ」は、既成の権力や体制派のエリートに対する反対者とは違い、実際に何を考え誰を支持しているかわからないために、民主主義がうまく機能しないこと
- ⑤ 選挙の際、「雇用」「移民」「テロ」といった特定の政治的アジェンダに限定した言説ばかりがはびこる結果、プロの政治家だけでなく、裁判官たちにも不満や侮蔑が向けられること

問7 傍線部5「この疑問」について筆者はどのように答えていますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号

15

〕

① 既成宗教が弱体化した今日、普通の市民は、ポピュリズムが掲げる宗教的な善悪二元論に共感し、自分もポピュリストと同じ善側につくことで、正統性意識を堪能することができるから。

② 普通の市民は、社会的な不正義の是正を既成の権力に求めても無駄であると諦めて、自分たち民衆全体の利益代弁者であるポピュリストに、「悪に対する善の闘争」を強く期待するから。

③ 既成宗教が弱体化したために、宗教的な心の支えを失いかけている普通の市民は、善悪二元論的な世界理解を推奨するポピュリズムに、宗教の代替的な役割を求めようとしているから。

④ ポピュリズムに懐疑的な良識ある普通の市民といえども、既成宗教が弱体化して、自分たちの発言を集約する機能をもたなくなったために、ポピュリストを支持する以外に道がないから。

⑤ 政治の世界では一方的な善の体現者も、一方的な悪の体現者もないとはいえ、正統性を帯びたポピュリストに賛同し追従することで、自分たちも正統性意識を堪能できると考えるから。

問8 傍線部6「襲う」とありますが、この「襲」と意味が同じ熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

16

〕

① 踏襲

② 襲撃

③ 奇襲

④ 逆襲

⑤ 空襲

問9 傍線部7「( )は内側から蝕まれる」の空欄( )を補うのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号

17

〕

① 二元論

② 原理主義

③ ポピュリズム

④ 正統性

⑤ 既成宗教

問10 本文の内容と合致しないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

18

〕

① トルコのエルドアン大統領も、イタリアのベルルスコーニ元首相も、アメリカのトランプ大統領も、ポピュリストに数えられる。

② ポピュリズムを従来のイデオロギーに基づいて定義するのは困難であるが、全体主義や権威主義、善悪二元論を特徴とする。

③ ポピュリストは、民主主義の概念の一構成要素にすぎない多数決原理を利用して、全国民の排他的な代弁者であることを僭称する。

④ 善悪二元論的な世界理解、「あれかこれか」の原理主義を特徴とするポピュリズムは、衰退した既成宗教の代替宗教と言える。

⑤ ポピュリズムの蔓延を理解するためには、政治制度の面だけでなく、普通の市民の主観的な熱情をも理解する必要がある。

## 第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問12）に答えなさい。

次の状況を考えてみてほしい。あなたは偶然手にとった雑誌で取り上げられていたラーメン屋に興味<sup>a</sup>が湧いた。しかし、その店は自分の住んでいる地域からだいぶ離れたところにある。しかも、店は最寄り駅から徒歩二〇分はかかる。長い時間とそれなりの交通費をかけて店の前まで来たら、店の前にもうすぐ行列ができていて、一時間ほど並んでようやく席につき、ラーメンを食べることができた。

その翌週、またラーメンが食べたくなかった。家の近所を散歩していると、偶然、先週行った店から暖簾<sup>1</sup>分けした店を見つけた。その店は先週行った本店とまったく同じ仕入れ先の材料を使っている、調理工程もまったく同じである。（イ）、先週本店であなただが食べたラーメンを作った人が偶然ヘルプで暖簾分けの店に入っており、今週もその人が作ったラーメンを食べられた。この状況では、今週食べたラーメンは先週と比べてまったく遜色<sup>A</sup>がないことになる。

（ロ）、いま目の前にあるラーメンと先週のラーメンを「同じおいしさ」と判断することはできないだろう。むしろ「先週の方がおいしかったな」と思うはずである。たとえあなたがグルメだったりラーメン通だったりしたとしても、「同じおいしさ」と判断するのはかなり難しいはずだ。というのも、人間の心には苦勞して手に入れたものを高く評価してしまうクセが備わっているからである。（1）

そのクセは「認知的不協和の解消」と呼ばれるものである。ここで言う「認知」とは、記憶、思考、知識、欲求といった心の状態／働きのことである。認知的不協和理論によれば、人間は複数の認知の折り合いがつかなくなっている（不協和にある）状態を嫌う。不協和状態は飢えや渴<sup>b</sup>きのように不快なものであり、私たちはそれをなんとか避けようとするというのである。

先ほどの例で不協和を起こすのは、「先週のラーメンは食べるのに多くの時間と労力がかかった」「今週のラーメンは簡単にありつけた」「先週と今週のラーメンのおいしさは同じだ」の三つである。この三つをすべて認めてしまうと、先週あなたがラーメンを食べるためにかけた時間や労力は完全に無駄だったと認めることになる。さらに、簡単に手に入るものに時間と労力を無駄にした自分は愚かだと認めなければならなくなってしまう。しかし、それを認めるのは非常に難しい。そのため、この三つをすべて受け入れることができず、認知的不協和が生まれるのである。（2）

この不協和を解消するにはどうすればいいのか。目の前のラーメンを軽視すればいいのである。つまり、「X」と評価すればいいのだ。実際、他の二つは否定しようがない。先週のラーメンにかけた時間や労力はどうやっても戻ってこない（過去は変えられない）。そして、いま食べているラーメンは実際に簡単に手に入っている。そうすると「Y」を否定するしかない。時間と労力をかけた先週の方が「Z」と思わなければ割に合わないのである。

認知的不協和の解消は食べ物の評価だけを説明するものではなく、一見すると不可解な人間の行動を広く説明してくれる。タバコが健康に悪いと知りつ

つやめられないのは、「タバコは健康に悪い」という知識と「タバコを吸いたい」という欲求が不協和を起こし、それを解消するためにタバコの害が低く見積もられ、「吸っても大丈夫」と考えられてしまうからである。(ハ)、非常に効果の怪しい高額な商品を買いつけることも説明できる。一度その商品に手を出してしまつたら、高いお金を出したという事実は消えないので、他人からいくら「そんなの怪しい、インチキだ」と言われようとも、「素晴らしいものだ」と信じなければならぬ。(3)

認知的不協和の解消によつて、食べ物の判断が歪められるさまざまな場面が説明できるようになる。高いお金を払つてありつけたものは、その分だけおいしくなければ辻褄が合わない。有名なシェフが作った／有名な産地の材料が使われているものは、それだけ値段が高いので、高いぶんおいしく感じられなくてはならない。名前が凝つた料理も、そこに作り手のこだわりを感じれば、その分だけおいしく思つてしまうのである。また、自分で時間と労力をかけて作った料理も、それに見合うぶんだけおいしく感じられるだろう。

認知的不協和の解消は意図的になされているわけではなく、人間の心がいろんな場面で勝手にやつてしまうものである。不協和を避けようとする行動が自然と生まれてしまうのだ。グルメやラーメン通がラーメンを評価する場面でも、こうした心の働きは自動的に生まれてしまうだろう(むしろ、有能なグルメやラーメン通、批評家であるためには、こうしたバイアスを意図的に抑えつける能力を身につけている必要がある)。

しかし、値段などの情報は必ず悪い方向に働くわけではない。(ニ)、食べ物の特徴を捉える助けとなることもある。それを理解するために重要なのは、注意の向け方だ。

(ホ)、友人の家に行つて、紅茶を出されたとしよう。ちよつと喉が渴いでいたので一気に飲み干した。この場合、紅茶を飲む第一の目的は喉の渴きを癒すため、その味を楽しむ余裕はなかつた。(4)

しかし、友人から「その紅茶は一〇〇グラムで四〇〇円する」と聞いたらどうだろう。近所のスーパーで簡単に手に入るものの一〇倍、下手したら二〇倍の値段だ。こうした値段の情報を得た後では、同じ紅茶をもつと注意して飲むようになるだろう。どんな味わいや風味がするか、いつも飲んでいゝものどう違うか気になってくるはずだ。それにより、以前は気づかなかつた柑橘系の香りや味わいに気づくことができるようになる。そして、「味や香りが普通とは違う」と判断できたり、より楽しんで紅茶を飲むようになったりする。

この場合、値段の情報は評価を直接変化させているわけではない。それが変化させているのは知覚的な注意だ。注意の変化により知覚を通して得られる情報が変化し、違った評価が下されているのである。この場合、「値段が高い」という情報は、「おいしい」という評価を強制するものとはなっていない。むしろ、知覚を変化させるきっかけの一つになっているだけである。友人が紅茶の値段を言わないで「もっとじっくり味わつてみてよ」とだけ言つていたとしても、同様に注意が変化し、同じような評価の変化が生まれていたかもしれない。

「低脂肪(ごほう)健康スープ」と聞くと、ごほうや脂肪の少なさに注意が向く。これに対し、「鳴門鯛(なな)のダシたっぷりポタージュ」では、鯛のダシに注意が向くだろう。(5)

もちろん、注意の変化が必ず良い結果をもたらすとは限らない。注意深く味わってみると前には気づかなかった雑味が感じられるようになって、「おいしくない」と思う可能性もある。また、「これくらいの味の紅茶にそんなお金を出すなんて、騙(だま)されたんじゃないか」と友人を残念に思うこともあるかもしれない。とはいえその場合でも、注意深く味わうことで紅茶がもつ特徴をより細かく捉え、より正確に味を判断し、より正確な評価を下すことができるようになっていくだろう。

同じことは他の情報にも当てはまる。材料の産地はどこか、どういう経歴の料理人が作っているか、どういった製法で作られているのか。こうした情報(お)は注意に影響する。「隠(ひそ)し味に醤油(しょうゆ)が使われている」と聞いたなら、たとえ醤油そのものの味はしなくても、何か普通と違うところがあるのではないかと思いい、それを探ろうと注意して味わうようになるだろう。

(源河亨(げんかとおる)『美味しい』とは何か)による)

(注) バイアス＝偏り、偏見、先入観。

問1 傍線部 a) e の漢字の読みが間違っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕

19

- ① a 「湧」(わ)      ② b 「渴」(かわ)      ③ c 「凝」(こ)  
④ d 「捉」(とら)      ⑤ e 「癒」(うなが)

問2 空欄(イ)～(ホ)を補う語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)

〔解答番号イ〕 20、ロ 21、ハ 22、ニ 23、ホ 24

- ① また      ② しかも      ③ だから      ④ むしろ      ⑤ しかし      ⑥ たとえば

問3 傍線部1「暖簾」は二字で「のれん」と訓読みします。これと同じく熟字訓で読むものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕

25

- ① 路肩      ② 長年      ③ 雨音      ④ 神楽      ⑤ 羽毛

問4 傍線部A「遜色がない」、B「辻褄が合わない」の意味として最も適当なものを、各群の①～⑤のうちから一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕

A 26

B 27

〔 〕

A「遜色がない」

- ① 匹敵しない  
② 見栄えがしない  
③ 勝負にならない  
④ やぶさかではない  
⑤ 引けをとらない

B「辻褄が合わない」

- ① 筋が通らない  
② つまらぬ  
③ 容認できない  
④ 満足できない  
⑤ 説明がつかない

問5 傍線部2「認知的不協和の解消」の具体例として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

28

- ① 何日かけても解けなかった数学の問題が、テレビコマーシャルがヒントになって、ようやく解けた。
- ② ずっと気になっていた同級生に、思い切ってつき合ってほしいと言ったら、すんなりOKしてくれた。
- ③ 株を買って大損してしまったので、やはり地道に働いてお金を貯めるのが一番いいと思い至った。
- ④ 自分より後から入社した後輩が、自分より高い役職に就いたのは、上司に取り入ったからだと考えた。
- ⑤ バイト先の店長に気に入られて、ずっとうちで働くようになると言われて迷ったが、結局会社員を選んだ。

問6 空欄  X  Z を補う語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

29

- |                  |                |             |
|------------------|----------------|-------------|
| ① X 〓先週のよりおいしくない | Y 〓先週のよりおいしくない | Z 〓おいしかった   |
| ② X 〓先週のよりおいしくない | Y 〓おいしさは同じ     | Z 〓おいしかった   |
| ③ X 〓おいしさは同じ     | Y 〓先週のよりおいしくない | Z 〓おいしかった   |
| ④ X 〓先週のよりおいしい   | Y 〓先週のよりおいしい   | Z 〓おいしくなかった |
| ⑤ X 〓先週のよりおいしい   | Y 〓おいしさは同じ     | Z 〓おいしくなかった |

問7 傍線部I～Vの「それ」の指示内容として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

30

- ① I 〓不協和
- ② II 〓かけた時間と労力
- ③ III 〓値段などの情報
- ④ IV 〓値段の情報
- ⑤ V 〓何か普通と違うところ

問8 傍線部3「こうしたバイアス」とはどういうことを指しますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号 31〕

- ① 認知的不協和の解消によって食べ物の判断が歪められること
- ② 名前が凝った料理に作り手のこだわりが感じられること
- ③ 高いお金を払ってありつけたものは、その分だけおいしいこと
- ④ 人間の心がいろんな場面で勝手に認知的不協和をやってしまうこと
- ⑤ グルメやラーメン通がラーメンを意図的に評価すること

問9 傍線部あ～おの「情報」のうち、他の四つとは性格の異なるものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 32〕

- ① あ
- ② い
- ③ う
- ④ え
- ⑤ お

問10 傍線部4「飲める」は、五段動詞「飲む」に可能の助動詞「れる」が付いた「飲ま・れる」が一語化してできた可能動詞です。これと同じ成り立ちの可能動詞ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 33〕

- ① 見れる
- ② 話せる
- ③ 泳げる
- ④ 笑える
- ⑤ 言える

問11 本文から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 34〕

口に入ったものは同じでも、そのなかの何に注意するかによって感じられる味が変化し、評価が変わってしまうのだ。

- ① ( 1 )
- ② ( 2 )
- ③ ( 3 )
- ④ ( 4 )
- ⑤ ( 5 )

問12

本文の内容と合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

35

〕

- ① 認知的不協和の状態は人間の判断を歪めるだけでなく、注意の向け方にも影響を与えて、評価の変化をもたらしてしまうこともある。
- ② 人間には認知的不協和の状態を嫌う傾向があるが、それは情報が誤っていることや、そのために正確な評価を下せないことが原因である。
- ③ 値段などの情報は認知的不協和の解消によって判断を歪める場合もあれば、注意の変化を生み出してより正確な評価につながる場合もある。
- ④ 食べ物の値段や産地や製法などの情報は、その味をじっくり楽しむことに役立つこともあるが、逆に雑味を感じさせたりすることもある。
- ⑤ 認知的不協和の解消は食べ物に対する注意の変化を促すが、それが必ずしも良い結果をもたらすとは限らず、むしろマイナスに働くこともある。